様式第３号

令和３年度　学校経営報告書（自己評価）

学校番号	107	学 校 名	御殿場特別支援学校	校 長 名	鈴木　晴久

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）　　㊙は教職員の学校評価　㊐は保護者の学校評価

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	**小中高十二年間のつながりを見える化**	◎将来を見据え、「つなぐ」「つなげる」ように個別の指導計画を作成し、指導できている。 ①個別の指導計画に掲げた目標について、個々の育ちや学びの履歴を踏まえ前後をつなげた視点で語ることができる。 ②前学年、学部の指導を把握したり、将来の姿をイメージしたりしながら、個に合った目標を立てて指導に取り組むことができる。	・学部ごと個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成の目的を踏まえたうえでケース会議を実施した。 ・個々の育ちや学びの履歴を踏まえた支援ができるよう授業カードの工夫（小）や支援シートの活用（中）を行った。 ・キャリアパスポートの活用は学部ごとに進めたが高等部での方法を全校で研修した。	A	①「できている」98.9% ②「できている」97.9% ㊐「12年間のつながりを意識し生きる力につながる指導をしている」と答えた保護者　98.4% ・キャリアパスポートの活用について高等部では理解と活用が進んでいるので、次年度は小中学部でも理解と活用を進め、学校全体として取り組んでいきたい。
	主体的・対話的で深い学びのある授業づくり（３年間のまとめ）	③助言者や参観者からのアドバイスをもとに、授業改善に努めている。 ④児童生徒の分かり方や学び方に沿った教材研究に取り組み、授業で活用している。 ⑤ICT 機器を活用した授業づくり、児童生徒の有効活用を推進している。	・一人一授業研、実施。 ・助言者招聘研修年間２回実施。 ・はごろも『夢』講演会８月実施。 ・校内実践報告会１月実施。 ・ＩＣＴ機器に関する教材展示（夏季休業中）、ミニ学習会を実施。	A	③「授業改善に努めている」98.9% ・次年度は児童生徒の見取り（評価）を適切に踏まえた上での授業改善を進めていきたい。 ④「できている」98.9% ⑤「推進している」93.4% ・次年度は児童生徒に必要なＩＣＴを選択して効果的に活用できるようにしていきたい。
	専門性の向上（実態把握、支援方法）	⑥学習会の内容が指導に活きている。 ⑦発達検査の活用方法についてのアドバイスを活かしている。 ⑧自立活動室の教材が、校内で活用されている。	・外部講師による個別指導学習会・発達検査に関する学習会を実施。 ・学習会の助言を学部内で共有。支援の共有化を図った。 ・学部ごとに発達検査（太田ステージ）や自閉症児への対応など、ミニ学習会を実施。 ・自立活動教材、研修会、自立活動図書の紹介実施。	A	⑥「活きている」91.3% ⑦「活かしている」82.4% ⑧「活用されている」　94.6% ・学習会後の実践の共有、発達検査の活用、自立活動の教材の紹介は、さらに取り組んでいきたい。

様式第３号

イ	新しい生活様式も踏まえた環境設定	⑨安心して授業に参加したり、話し合いを行ったりする環境を設定できている。 ⑩感染予防対策（３密回避、手洗い、手指消毒、換気等）を習慣化、徹底している。 ⑪給食を安全に食べることができている。	・感染症対策の徹底のため日々の健康観察を丁寧に実施。手洗い、うがいなど生活習慣を指導した。 ・日課や教室を変更し安全な環境づくりに努めた。 ・感染予防対策用品の購入は学部の要望に応えるよう努めた。	A	⑨「できている」97.8% ⑩「徹底している」98.9% ⑪「できている」96.7% ・学年の実態に応じて手洗い、うがいの指導を行い児童生徒自身の習慣化につながった。 ・今後も特に学習環境に気を配り安心して学習できる場を設定していく。
	命を守る安全教育	⑫避難方法や自分の役割に沿って、緊急時には動ける準備ができ(た)ている。 ⑬児童生徒が自分の命を守るための適切な判断、行動（ハンカチで口を覆ったり、机の下に入ったり等）をとれるよう支援できた。 ⑭児童生徒が身近な危険から自分の身を守る行動意識が高まるよう支援できた ⑮定期的な安全点検により、日頃から安全環境を意識して指導している。 ⑯発作等の緊急時における対応方法に沿って、動ける準備ができ(た)ている。 ⑰生徒はスマホ等の使い方のマナーを身につけ、安全に生活できている。	・避難訓練については予定通り実施。 ・まなぼうさい（防災学習）、まなぼうはん（防犯学習）を学部で計画的に進め、地震や火災時の対応を学んだり、災害用グッズを作ったりした。授業内容は、廊下に掲示し共有した。 ・安全点検は、点検方法や結果を共有することが難しかった。 ・事務では週明け及び悪天候の翌朝に施設の点検、巡回を行った。 ・情報モラルに関する学習を年間２回以上実施。 ・様々な状況での緊急時対応訓練を実施。 ・高等部ではＳＮＳに関する授業を３回実施。登下校指導を３回実施。	A	⑫「できている」100% ⑬「支援できた」100% ⑭「支援できた」100% ⑮「指導している」98.9% ⑯「できている」100% ㊢「危機管理体制の整備と安全教育を推進している」と答えた保護者 98.5% ・今後も計画的な安全教育を推進し危機管理意識の維持に努める。 ⑰「できている」79.1% ・ＳＮＳに関する指導は生徒だけでなく保護者にも働きかける場を設定したい。
	人を大切にする心と体の教育	⑱道徳授業の実践資料（一覧）を作成できた。 ⑲児童生徒の手本となる人権教育を自ら推進している。	・学部ごとに年間指導計画の整理と共有（小）道徳の内容を意識した授業実践（中）道徳の授業資料の集約（高）を行った。 ・高等部では生徒への適切な対応を話し合った。（５月、７月、12 月） ・人権教育研修を実施。 ・教職員に人権標語を募集し、周知を毎月実施。	A	⑱「作成できた」79.1% ・今後も道徳の授業の質を高めるため、実践資料の共有を継続する。 ⑲「推進している」99.0% ㊢「人権を大切にした教育活動や教育環境ができていると答えた保護者 99.0% ・学校全体で人権感覚を高めるために取り組んでいきたい。

様式第３号

		⑳安全、安心の中で、健康な体つくりができている。 ㉑生活年齢・発達段階に応じた保健指導（性教育を含む）を実践できている。 ㉒児童生徒は、食育に興味や意識を高めて授業に参加できている。	・体験的で実践的な学習を実施した。毎月の身体測定から体の状態を把握することができた。（高） ・性教育の授業を４年生以上で実施。 ・栄養教諭と連携して献立を考える授業を実施。 ・食育の年間指導計画に沿って指導。	A	⑳「できている」98.9% ㉑「できている」98.9% ㉒「できている」98.9% ㊐「豊かな心健やかな体を育む教育活動に取り組んでいる」と答えた保護者 99.0% ・自分の体を知ることや性の指導等、保健の授業の情報共有を行っていきたい
		㉓児童生徒が色々な本 に触れ、興味を持って見たり、自分から本を読んだりする機会になっている。 ㉔児童生徒が自分の作品を作ることを楽しみにする機会になっている。 ㉕児童生徒が自分の作品や他者の作品を見たりすることを楽しむ機会になっている	・３団体による読み聞かせを実施。コロナ禍のため、予定した回数の実施はできず。 ・希望図書の購入を実施。 ・多くの作品展に出展した。他にも学校内や外部の展示の入れ替えを年３回実施。 ・専科の教員による美術指導の学習会を１回実施。	A	㉓「なっている」97.8% ㉔「なっている」97.8% ㉕「なっている」97.8% ・作品に関心をもち意欲的に作品作りに取り組む生徒が増えている。今後も作品展の充実を図っていきたい。
ウ	社会に開かれた学校づくり	㉖イベント参加により児童生徒が達成感をもつことができたと感じることができる。 ㉗新しい地域資源を拡げ、関わる学習に取り組むことができる。	・コロナ禍でイベント参加は難しかったが、買い物学習、校外学習、地域交流、作業学習で近隣施設を利用。 ・進路指導関係 新規実習企業７、 新規福祉施設５、 新規学習協力企業２	A	㉖「できる」87.9% ㉗「できる」94.5% ㊐「社会に開かれた学校づくりを推進している」と答えた保護者 98.0% ・今後もあらゆる機会を通して、地域社会との連携を図り顔の見える交流を図りたい。
	共生教育の充実	㉘交流校と目的を共有して、お互いの児童生徒にとって充実した交流になってきている。 ㉙交流籍を希望した児童生徒の交流が実現できた。 ㉚学校 HP での、発信内容が充実したものになっている。	・学校間交流実施。 （神山小学校、 富士岡中学校、 御殿場高校） ・交流籍（居住地校）交流実施。 ・地域交流の実施。 ・オープンハウスのイベントで沼津商業高校と作業体験の交流実施。	A	㉘「なってきている」98.9% ㉙「実現できた」96.7% ㊐「共生教育を充実させている」と答えた保護者 95.3% ・ビデオレター等、コロナ禍でも工夫して交流を実施できた。今後も相手校と相談し価値ある交流を継続する。 ㉚「なっている」96.7% ㊐「学校だよりやホームページがよくわかるように作られている」と答えた保護者 94.8%

様式第３号

	地域への役割の充実	㉛中学校、高等学校からの依頼に応じ必要なサポートができている。 ㉜児童生徒と福祉やSCとを結ぶ等、校内での支援は充実している。 ㉝HPを活用して、センター的機能の情報発信ができている。 ㉞学校紹介ビデオを作成し、職員全員が地域へ紹介できる準備ができた。	・新たに市町教委を中心として小中との連携を深めることができた。また一部の高校とも深く関わることができた。 ・HPでの発信は十分とは言えなかった。 ・就業促進協議会の就労セミナーには企業や福祉事業所、中学校や高校の教員も参加し就労支援の情報発信ができた。 ・学校紹介ビデオの制作。	A	㉛「できている」98.9% ㉜「充実している」100% ・市町教委、小中学校等エリアサポートが充実してきた。 ㉝「できている」97.8% ㉞「できた」98.9% ・学校紹介DVDが完成した。今後活用しセンター的機能の情報発信に活かす。
エ	コンプライアンス意識の向上	㉟授業準備の時間や児童生徒のことを語り合う時間が昨年度より増えている。 ㊱お互いに「あいさつ」「報連相」ができる職場の雰囲気が構築されている。 ㊲飲酒運転０個人情報漏洩０体罰０スクールセクハラ０	・昨年度からの業務改善の取組について実行状況や効果を検証しながら、運営委員会、職員会議で全員が参加して業務改善について話し合いを重ねた。具体的な取組を学年や分掌単位で実行した。 ・不祥事根絶研修は職員会議を利用した全体研修やグループワーク５回、ＰＣ掲示板での周知等を実施。 ・不祥事０。	A	㉟「増えている」92.3% ・学校全体で業務改善の話し合いができ、それぞれの立場で取組が進んだ。 ㊱「構築されている」96.7% ㊲ 不祥事０ ・今後も風通しの良い学校風土を作るための取組を進める。
	「学び続ける教職員」の育成	㊳OJTやミニ学習会を専門性の向上に役立てている。	・ＯＪＴに取り組んだ教員40人。 ・学部ごとミニ学習会を実施。 ・専門性を活かした授業教材を集め、引き継ぐフォルダの作成。（高）	A	㊳「役立てている」95.7% ・次年度も学習会で学んだことを授業に生かせるようにテーマや時期を工夫し、教員の向上心を高めたい。